

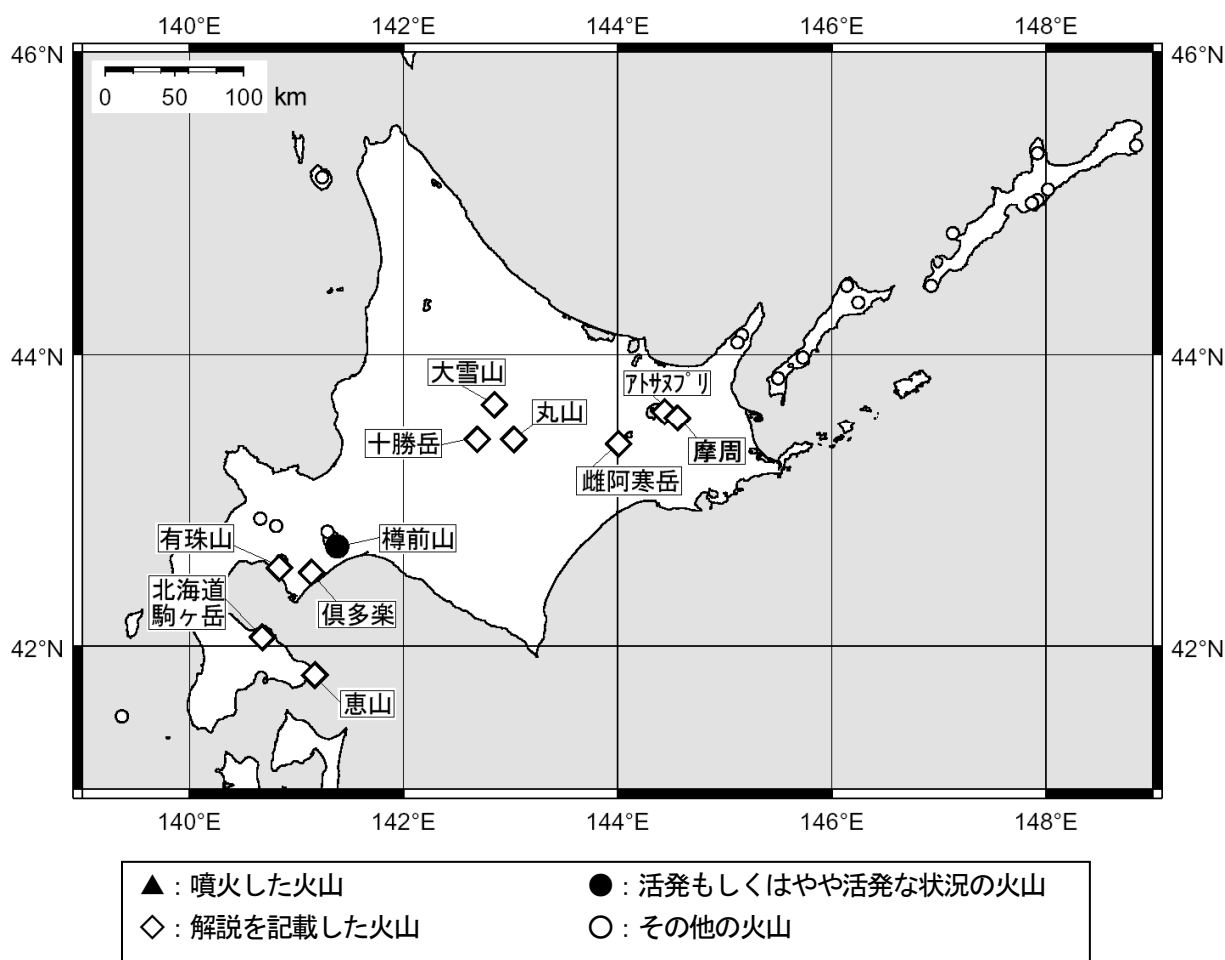
北海道地方の火山活動解説資料（平成19年7月）

札幌管区気象台
火山監視・情報センター

平成19年7月の活動概況

樽前山では、引き続き火山活動はやや活発な状況となっています。

北海道地方の活火山



この解説資料は札幌管区気象台のホームページ (<http://www.sapporo-jma.go.jp>) や気象庁のホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成19年8月分）は平成19年9月7日に公表する予定です。

この資料は気象庁の他、北海道大学、独立行政法人産業技術総合研究所、北海道、北海道立地質研究所および森町のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』『数値地図10mメッシュ（火山標高）』を使用しています（承認番号 平17総使、第503号）。

資料中の地図については、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図200000（地図画像）』『数値地図25000（地図画像）』を複製しています（承認番号 平17総復、第650号）。

各火山の活動概況

◇摩周 [静穏な状況]

3日に実施した上空からの観測では、噴気や地熱等は認められず、火山活動は静穏な状況です。

◇アトサヌプリ [静穏な状況]

13日に実施した現地調査および3日に実施した上空からの観測では、噴気の状態や火口の状態に変化はなく、火山活動は静穏な状況です。

◇雌阿寒岳 [静穏な状況]

火山活動に特段の変化はなく、静穏な状況です。

◇丸山 [静穏な状況]

2日に実施した上空からの観測では、火口の状態に変化はなく、火山活動は静穏な状況です。

◇大雪山 [静穏な状況]

2日に実施した上空からの観測では、噴気の状態や火口の状態に変化はなく、火山活動は静穏な状況です。

◇十勝岳 [静穏な状況]

火山活動に特段の変化はなく、静穏な状況です。19日に振幅の小さな火山性微動が観測されました。山頂部のGPS観測で観測されたわずかな膨張の変動は、一部の基線で鈍化が認められました。

●樽前山 [やや活発な状況]

A火口及びB噴気孔群では高温の状態が続いています。火山活動は引き続きやや活発な状況です。火口周辺では注意が必要です。

◇倶多楽 [静穏な状況]

火山活動に特段の変化はなく、静穏な状況です。

◇有珠山 [静穏な状況]

火山活動に特段の変化はなく、静穏な状況です。

◇北海道駒ヶ岳 [静穏な状況]

火山活動は静穏に経過しています。わずかな山体膨張は引き続き観測されています。

◇恵山 [静穏な状況]

火山活動に特段の変化はなく、静穏な状況です。